

国土交通省の歩掛・機械費作業班会議による新技術活用システム(NETIS) 推奨技術「ランブルストリップス」の現地調査が開催されました

寒地交通チーム

平成21年7月8日(水)に、寒地土木研究所構内において国土交通省の平成21年度第1回歩掛・機械費作業班会議が新技術活用システム(NETIS)推奨技術「ランブルストリップス」の現地調査を行いました。本会議は、国土交通本省及び各地方整備局の歩掛担当者が参加し、土木工事標準歩掛や請負工事機械経費積算要領等を協議する場で、今回は25名が参加しました。

ランブルストリップスは、平成21年度に公共工事等における新技術活用システム(NETIS)の「推奨技術」に全国で初めて選定されました。有用な新技術であるランブルストリップスの活用促進に向けて、歩掛制定が必要なことから、今回現地調査の開催となりました。

調査は、正面衝突事故対策としてのランブルストリップスの研究開発や施工方法、普及状況、整備効果の検証等について、当所寒地交通チームの平澤主任研究員による講演の後、構内でランブルストリップスの施工が行われました。その後、会議参加者は試験車両に搭乗し、ランブルストリップスの音と振動を体感しました。今回の知見と経験が各地方整備局に伝えられ、交通安全対策としてのランブルストリップスが北海道以外の地域で普及することが期待されます。

(文責：寒地交通チーム 平澤 匡介)

現地調査の様子



施工直後の状況



ランブルストリップスの体験走行



施工直後の状況



ランブルストリップスの体験走行